

シラバス作成ガイドライン

1 シラバスについて

シラバスは、授業を履修する学生に、授業の内容、目的・目標、授業計画及び成績評価の方法と基準等を示すものです。また、このシラバスは、学生のみならず、一般に公開することが求められています

2 シラバス作成にあたって

授業科目	授業科目名を明記して下さい。
授業の概要	授業全体を通して扱うテーマや授業内容を記入します。
授業の目標	その授業を履修することで、学生がどのようなスキル・技能を発達させたり、習得できたりするのかを説明します。
評価方法	判定材料とその比率を明記して下さい。「レポート〇%、小テスト〇%、期末試験〇%」のように、判定材料とその比率を明記してください。
授業の時期	前期・後期・通年 を○で囲んで下さい。
取得単位数	取得単位数を記載して下さい。
授業計画	授業の全体像を把握できるよう、各回の授業のテーマや学習内容を具体的に記入してください。

[単位認定の基準]

学則第15条 各教科において次の各号を満たした者は、その教科の単位を認定することとする。ただし、学納金が年度末までに未納の者については、その年度におけるすべての認定単位を取り消す。

(1) 欠課時数が講義科目1/3以下、実習科目1/5以下の者を評価対象とする。なお、評価対象者には、欠課時数分の補講を行う。

(2) 成績評価各課目100点満点とし、60点以上であること。

ただし、60点未満の者は十分な復習後、追試験を行い60点を満たし、担当教員が認めた者。

各教科では、担当教員が授業への取り組み、提出物、成果物、テスト等を点数化し、それぞれの割合を決め、年度末にそれらを合計し、100点満点で採点する。その得点が60点以上かつ出席の基準を満たしている者に単位を認定している。

[成績評価の分布状況の把握について]

本校では各教科の教員が100点満点でつけた点数をもって成績評価としている。

各教科では、担当教員が授業への取り組み、提出物、成果物、テスト等を点数化し、それぞれの割合を決め、年度末にそれらを合計し、100点満点で採点する。その得点が60点以上かつ出席の基準を満たしている者に単位を認定している。

また、合計得点により、ヒストグラムを作成し、学生の成績の分布状況を把握している。

[進級・卒業認定の基準]

学則 第16条 1学年の学生においては、別表一の項目のうち1学年で取得すべき単位をすべて習得している者は、進級認定会議に諮り進級を認めることとする。ただし、単位が認定されなかった科目が1課目のみである学生のうち、認定されなかった理由が欠課時数分の補講が不足していた者については、春期休業中に補講を行うことによって、欠課時数を補える場合は、補講が終了した時点で進級を認めることとする。

2 2学年の学生においては、次の各号を満たした者は、卒業認定会議に諮り卒業を認めることとする。

(1) 別表一の授業科目の単位をすべて取得していること。

(2) 学納金が完納してあること。